2022（令和４）年度

２日［＊＊］

地理歴史（日本史）

注　　意

1．監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。

2．問題は声を出して読まないこと。

3．問題は17ページ、1 、2 、3 、4 、5 の５題から成っている。

4．問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。内容に関する質問は受けつけない。

5．解答は必ず**鉛筆を使用し、解答用紙に記入すること**。

6．すべての解答は、それぞれの解答欄の記号（㋐ ㋑ ㋒ …）**にマークすること**。

7．訂正箇所は、消しゴムで**完全に消すこと**。

8．解答に関係のない符号（？✓など）や文字は記入しないこと。

9．解答用紙を**折ったり汚したりしないこと**。

10．人名・地名などについては、新字体に改めているところがある。

1 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

称徳天皇の死後、それまでの天武天皇系の皇統にかわって、天智天皇系の白壁王が即位し、光仁天皇となった。ついで、光仁天皇と渡来系氏族の血をひく［ 1 ］との間に生まれた山部親王が即位し、桓武天皇となった。天皇は積極的な政治改革を進めて律令制の再建をはかったが、度重なる造営事業や(a)東北地方への軍隊の派遣により国家財政が圧迫された。

桓武天皇の改革は、平城天皇や続く嵯峨天皇にも引き継がれたが、「二所朝廷」とよばれる政治的混乱が生じた。このとき設けられた［ 2 ］に藤原冬嗣らが任命され、冬嗣は藤原氏北家発展の基礎を築いた。

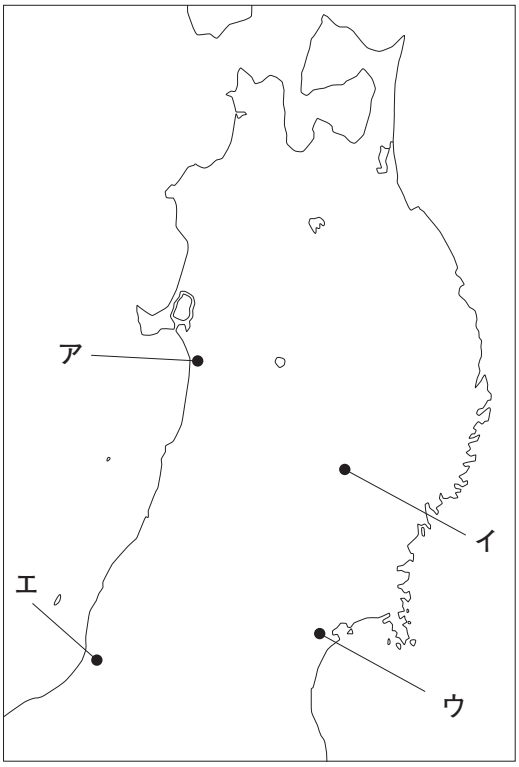
北家は天皇家との結びつきを強め、藤原良房や基経の時代からは、摂政・関白に就任することが多くなり、(b)他氏排斥を進めながらその勢力を伸ばした。10世紀後半には、その政治的地位は不動のものとなり、その後には、北家内部の争いを勝ち抜いた(c)藤原道長が［ 3 ］として、大きな権勢をふるった。摂関政治の時代、外交や財政などの国政上の重要問題については、［ 4 ］という公卿による会議での意見を参考に天皇や摂政が決裁した。

摂関家の財政的な基盤は、官人としての莫大な収入であったが、人事権を掌握していたため、国司や(d)受領への就任を希望する者からの献納物なども収入となった。この頃には、有力農民などが国衙から臨時雑役などを免除されて一定の領域を開発し、やがて開発領主とよばれるようになっていったが、かれらの中には開発した所領を権力者に寄進し、自らは［ 5 ］などの荘官になる者もあらわれた。天皇家や摂関家なども積極的に寄進を受けるようになっていき、こうして形成された(e)荘園は中世社会で重要な役割を果たした。

問１　空欄１について、適当なものを選びなさい。

ア．額田王　　イ．橘大郎女　　ウ．高野新笠　　エ．炊屋姫

問２　下線部(a)に関連して、桓武天皇の時代に築かれた胆沢城の場所として、最も適当なものを次の地図中から選びなさい。



問３　空欄２について、適当なものを選びなさい。

ア．勘解由使　　イ．検非違使　　ウ．蔵人頭　　エ．押領使

問４　下線部(b)に関連して、９世紀に起きた藤原氏による他氏排斥に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．宇多天皇の時、右大臣菅原道真が大宰権帥に左遷された。

イ．応天門が炎上した事件では、大納言の伴善男らが流罪となった。

ウ．承和の変では、のちに「三筆」に数えられる小野道風らも処罰された。

エ．左大臣源高明が失脚させられた。

問５　下線部(c)に関連して、次の史料に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

（寛仁二年十月）十六日乙巳、今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。
……太閤、下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや」。又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の　かけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し、満座只此の御歌を誦すべし。……」と。

（『小右記』、原漢文）

ア．この史料に出てくる下官は、道長の歌に対して返歌を求められた。
イ．この史料では道長は、このとき詠んだ歌は前々から準備していたものであったと述べている。
ウ．この史料に出てくる下官は、道長の詠んだ歌を称賛した。
エ．この史料に出てくる下官は、藤原実資を指している。

問６　空欄３について、適当なものを選びなさい。
ア．棟梁　　イ．御内人　　ウ．乙名　　エ．氏長者

問７　空欄４について、適当なものを選びなさい。
ア．陣定　　イ．内覧　　ウ．公文所　　エ．評定衆

問８　下線部(d)に関連して、10世紀から11世紀後半頃までの受領に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

ア．受領の権限が増大するにつれて、地方での実務にあたる郡家の役割も拡大していった。

イ．一族や家人などを目代として派遣し、交替の時以外は任国におもむかない受領もいた。

ウ．政府に一定額の税の納入を請け負った受領は、課税の基礎を土地から戸籍上の人へと変更していった。

エ．受領は任国での非法を訴えられても、解任されることはなかった。

問９　空欄５について、適当なものを選びなさい。

ア．郎党　　イ．下司　　ウ．県主　　エ．名代

問10　下線部(e)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

ア．現地の在庁官人が出した符によって免税された荘園を官省符荘とよんだ。

イ．国司によって税の免除が認められた荘園もあった。

ウ．荘園内の耕地は、名主によって経営されるようになっていった。

エ．検田使などの立入りを認めない特権を得た荘園もあった。

2 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1125年に遼を滅ぼした［ 1 ］は、南下し、宋の都を占領した。宋の王族は江南に逃れて南京で即位し、宋を再興した。これが南宋である。南宋時代においても日宋間に正式な国交は開かれなかったが、私貿易は盛んになった。平清盛による大輪田泊の修築など、日本もこの貿易に対して積極的であり、唐物とよばれた輸入品は国内で珍重された。文化面でも交流は活発であり、(a)日本からは多くの禅僧が入宋し、中国からも僧が来日した。彼らは仏教だけでなく(b)大陸のさまざまな文化を日本に紹介した。

13世紀初めにモンゴル諸部族を統合したチンギス＝ハンは征服地を広げ、その孫フビライ＝ハンは中国を支配するために都を［ 2 ］に移し、国号を元と定めた。元は２度にわたり日本に来襲し、日元関係は緊張したが、元との私貿易は盛んであり、鎌倉幕府も1325年には寺院再建費用を得るために貿易船を派遣した。室町幕府もこれにならい、1342年に［ 3 ］船を元に派遣した。

朱元璋が明を建国した後、南北朝の合体を実現した(c)足利義満は明との間に正式な国交を開き、日明貿易が始められた。この貿易は、勘合を使用した朝貢貿易であり、日本側に莫大な利益をもたらした。

日明貿易とほぼ同時期に開始されたのが、(d)日朝貿易である。この貿易は16世紀前半から縮小していった。貿易の輸出品となった薬材・香木などは、日本が琉球貿易で手に入れたものであった。三山を統一して生まれた琉球王国は、［ 4 ］を王府として中継貿易を盛んに行い、繁栄していた。

また、明や朝鮮との貿易が開始された頃、和人とよばれた人々は蝦夷ヶ島の渡島半島南部の海岸沿いに港を整備し、［ 5 ］館などの道南十二館を建てて(e)アイヌとの交易を行った。

問１　空欄１について、適当なものを選びなさい。

ア．西夏　　イ．金　　ウ．周　　エ．渤海

問２　下線部(a)に関連して、平安時代末期から鎌倉時代にかけての時期に入宋した日本出身の僧に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．円珍は大陸で禅宗を学び、帰国して園城寺を復興し、のちに寺門派の祖として崇められた。

イ．道元は宋で禅を深く学び、坐禅そのものを重視する教えを説いて越前に永平寺を開いた。

ウ．蘭渓道隆は宋に渡り禅宗を研究し、帰国後は幕府の保護をうけた。

エ．栄西は旧仏教側からの攻撃に『興禅護国論』を著して対抗し、鎌倉に建仁寺を開いた。

問３　下線部(b)に関連して、平安時代末期から鎌倉時代初期の東大寺再建に協力した宋の工人として、適当なものを選びなさい。

ア．重源　　イ．虎関師錬　　ウ．陳和卿　　エ．無学祖元

問４　空欄２について、適当なものを選びなさい。

ア．大都　　イ．揚州　　ウ．開城　　エ．臨安

問５　空欄３について、適当なものを選びなさい。

ア．興福寺　　イ．建長寺　　ウ．西大寺　　エ．天龍寺

問６　下線部(c)の時期の北山文化に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．観世座の世阿弥は、能を利用して政界への接近を試みたため、足利義満から弾圧をうけた。

イ．北山に建てられた金閣は、その心空殿にみられるような書院造を基調とした構造であった。

ウ．五山・十刹の制が整えられ、絶海中津や義堂周信らが五山文学を発展させた。

エ．藤原隆信・信実父子は、伝統的な大和絵の技法を積極的に導入し、雪舟などの水墨画に対抗した。

問７　下線部(d)に関連する出来事を年代順（古い→新しい）に並べたものとして、適当なものを選びなさい。

ア．三浦の乱→応永の外寇→癸亥約条（嘉吉条約）の締結

イ．三浦の乱→癸亥約条（嘉吉条約）の締結→応永の外寇

ウ．応永の外寇→癸亥約条（嘉吉条約）の締結→三浦の乱

エ．応永の外寇→三浦の乱→癸亥約条（嘉吉条約）の締結

問８　空欄４について、適当なものを選びなさい。

ア．糸満　　イ．名護　　ウ．今帰仁　　エ．首里

問９　空欄５について、適当なものを選びなさい。

ア．十三湊　　イ．志苔　　ウ．蠣崎　　エ．松前

問10　下線部(e)に関連して、1457年に起きた、アイヌの和人に対する大規模な蜂起の中心人物として、適当なものを選びなさい。

ア．コシャマイン　　イ．ゴローウニン

ウ．ラクスマン　　エ．シャクシャイン

3 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1716年、将軍徳川家継が８歳で死去し、［ 1 ］藩主の徳川吉宗(a)が８代将軍に就いた。吉宗は、綱吉以来続いてきた側近政治に対して不満を強めていた譜代大名らを重用し、幕藩体制の再建をめざして改革に取り組んだ。この頃、西日本を中心に天候不順や虫害などによる深刻な飢饉が発生したこともあり、百姓一揆(b)が起こった。

吉宗のあと、９代将軍家重を経て10代家治の時代に、［ 2 ］から老中となった田沼意次(c)が幕府の実権を握った。増加していた幕府の年貢収入も宝暦期には減少しはじめ、幕府財政は再び困難な状況に陥っていた。そこで、いわゆる田沼時代には、民間経済に重点を置いた経済政策が採用された。しかし、賄賂の横行は政治への批判をよびおこし、また1782年から始まった飢饉は数年続く大飢饉となり、人々の不満は田沼の政治に向けられた。さらに子の田沼意知が旗本の［ 3 ］によって刺殺されると、意次はさらに評判を落とし、将軍家治の死の直後に老中辞職に追い込まれた。

将軍吉宗の孫に生まれ、白河藩主として藩政の立て直しに取り組んだ松平定信は、11代将軍徳川家斉の補佐として、1787年に幕府の老中に就任した。定信の改革(d)は一時的に幕政をひきしめ、幕府の権威を高めたが、厳しい統制は民衆の反発を招いた。定信は［ 4 ］をめぐる将軍家斉との対立もあって、在職６年余りで老中職を退いた。

将軍家斉は約50年間在位したが、その治世の後半の文政期には、放漫な財政を背景に将軍の生活はとくに華美になった。幕府の支出増加は商人の経済活動を刺激し、都市を中心に文化が発展していったが(e)、本百姓の分解が進む農村では荒廃した地域も増大した。とくに江戸周辺の関東の農村では治安が悪化していったため、幕府は1805年に［ 5 ］を設けて犯罪者への対応などに当たらせた。

問１　空欄１について、適当なものを選びなさい。

ア．水戸　　イ．紀伊　　ウ．彦根　　エ．尾張

問２　下線部(a)の改革に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．棄捐令により、旗本の債務を帳消しにした。

イ．新たに末期養子を禁止する制度を定めた。

ウ．漢訳洋書の輸入制限を緩めた。

エ．検見法を広く導入し、年貢率を引き下げた。

問３　下線部(b)に関連して、江戸時代の農民による一揆や要求に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

ア．江戸時代前半には飢饉が多発し一揆が増加したが、それ以降農業生産力の向上とともに一揆はしだいに減少していった。

イ．江戸時代中期以降には、村役人の不正追及や村の公正な運営などを要求した村方騒動が頻発した。

ウ．江戸時代中期の一揆は、下総の磔茂左衛門のように村の代表が領主に直訴する惣百姓一揆が一般的であった。

エ．江戸時代後半の一揆では、年貢の増徴への反対とともに専売制の強化という要求が増加した。

問４　空欄２について、適当なものを選びなさい。

ア．侍講　　イ．勘定奉行　　ウ．大目付　　エ．側用人

問５　下線部(c)による政策に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．定量の計数銀貨を鋳造させた。

イ．天文方を設け、安井算哲を任じて暦の研究をさせた。

ウ．財政の安定のため、上知令を出した。

エ．初めて殉死禁止令を発布した。

問６　空欄３について、適当なものを選びなさい。

ア．山県大弐　　イ．竹内式部　　ウ．由井正雪　　エ．佐野政言

問７　下線部(d)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．正業をもたない出稼ぎ農民などに、資金を与えて帰村を奨励した。

イ．大名に石高１万石につき100石の米を臨時に幕府に上納させた。

ウ．治安対策として人別改めを強化するとともに、小石川養生所を開設した。

エ．物価の下落を防ぐため、すべての株仲間を解散させた。

問８　空欄４について、適当なものを選びなさい。

ア．フェートン号事件　　イ．モリソン号事件

ウ．尊号一件　　エ．三方領知替え

問９　下線部(e)に関連して、文化文政期の文化に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．鶴屋南北が書いた『東海道四谷怪談』が演じられた。

イ．竹本義太夫の語った人形浄瑠璃は、民衆に親しまれた。

ウ．菱川師宣は、多色刷浮世絵版画である錦絵を完成させた。

エ．松永貞徳は、俳諧を連歌から独立させて滑稽味も加えた。

問10　空欄５について、適当なものを選びなさい。

ア．関東都督　　イ．関東取締出役

ウ．関東郡代　　エ．関東管領

4 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

明治政府にとって重要な外交的課題は、旧幕府が欧米諸国と締結した不平等条約の改正であった。明治時代初期に欧米に派遣された岩倉使節団は、まず［ 1 ］と交渉を行ったが、成果をあげられず、1876年からの外務卿寺島宗則の交渉も結局は頓挫した。次に交渉を担当した外務卿（のち外務大臣）井上馨は、(a)さまざまな条件をつけた改正案で列強の了承を得たが、政府内外からの批判もあり、この交渉も成功しなかった。

この頃、朝鮮国内では、国王［ 2 ］のもとで日本との関係をめぐる意見の対立が激化して、反乱やクーデタが起こった。日清間の対立も激しくなったが、1885年の［ 3 ］調印などの外交的な努力もあり、全面的な衝突は回避されてきた。しかし、(b)日本の経済的進出に対し、1894年、減税と排日を要求する農民の反乱が朝鮮南部から起こり、しだいに朝鮮全土へと広がっていった。この反乱を鎮圧するために、朝鮮政府の求めに応じて出兵した清と、独自に出兵した日本とが、朝鮮で交戦状態に入った。日清戦争に勝利した日本は、領土や(c)賠償金などを獲得し、またこの戦争の直前に日英通商航海条約に調印して、条約改正に成功した。

しかし、その後中国東北部への勢力拡大を望むロシアとの対立が顕在化していき、日本国内でも［ 4 ］などで盛んに開戦論が唱えられた。1904年、日露は開戦したが、長期の戦争が難しかった日本は、翌年(d)講和条約を締結した。

1914年に始まった第一次世界大戦には、日本は日英同盟を理由に参戦し、翌年には中国の［ 5 ］政府に二十一カ条の要求を突きつけて勢力拡大をめざした。日本は(e)大戦景気とよばれる空前の好景気を迎えた。

問１　空欄１について、適当なものを選びなさい。

ア．ドイツ　　イ．フランス　　ウ．イギリス　　エ．アメリカ

問２　下線部(a)に関連して、この改正案の内容に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

ア．外国人の内地雑居を認めるかわりに、外国による領事裁判権を原則として撤廃する。

イ．大審院に限定して外国人裁判官の任用を認める。

ウ．外国による領事裁判権は維持する一方、日本の関税自主権を回復する。

エ．外国側に設定が認められていたすべての貿易障壁を徹廃する。

問３　空欄２について、適当なものを選びなさい。

ア．大院君　　イ．高宗　　ウ．哲宗　　エ．純宗

問４　空欄３について、適当なものを選びなさい。

ア．済物浦条約　　イ．壬申約条　　ウ．天津条約　　エ．己酉約条

問５　下線部(b)に関連して、1880年代から1890年代にかけての日本の朝鮮への働きかけに関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．大豆などの穀物の輸出を禁止した、朝鮮の地方官による防穀令を日本が廃止させた。

イ．土地調査事業を実施して、所有権の不明な広大な土地を接収した。

ウ．日朝修好条規を締結し、日本の関税免除などの特権を認めさせた。

エ．琉球の漁民が殺害された事件の賠償金を、朝鮮政府から獲得した。

問６　下線部(c)の使途に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

ア．鉄鋼の国内生産をめざして、官営八幡製鉄所が設立された。

イ．一部を準備金として、金本位制が採用された。

ウ．軍備拡張費が計上され、陸海軍の軍備が強化された。

エ．北海道開発のために、札幌農学校が設立された。

問７　空欄４について、適当なものを選びなさい。

ア．『国民新聞』　　イ．『平民新聞』

ウ．『日新真事誌』　　エ．『戦旗』

問８　下線部(d)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア．ロシアは、沿海州とカムチャッカの漁業権を日本に認めた。

イ．ロシアは、台湾の日本への割譲を認めた。

ウ．ロシアは、北京の列国公使館の襲撃に対して、賠償金を支払うこととされた。

エ．ロシアは、樺太全島と付属の諸島を日本に譲渡することとされた。

問９　空欄５について、適当なものを選びなさい。

ア．汪兆銘　　イ．段祺瑞　　ウ．袁世凱　　エ．蔣介石

問10　下線部(e)に関連して、この時期の日本の経済・産業などに関する記述として、適当でないものを選びなさい。

ア．国内の繊維産業が活況を呈し、中国に日本資本の紡績工場が次々に建設された。

イ．薬品などの分野でドイツからの輸入がとだえたため、国内で化学工業が勃興した。

ウ．景気が好調なアメリカへの輸出品目のうち、輸出額が最大なのは機械類であった。

エ．工業生産額が農業生産額を追い越し、工場労働者数も増加した。

5 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ポツダム宣言を受諾した日本は、連合国軍最高司令官総司令部（ＧＨＱ／ＳＣＡＰ）の指令・勧告にもとづいて日本政府が政治を行う間接統治方式で占領された。連合国による対日占領政策決定の最高機関として、アメリカのワシントンに［ 1 ］がおかれた。

ＧＨＱは［ 2 ］内閣に対して治安維持法・治安警察法の廃止、政治犯の釈放などを指令したが、この内閣は指令の実行は不可能であるとして総辞職した。連合国軍最高司令官マッカーサーは、後継の内閣総理大臣に、女性参政権の付与、労働組合(a)の結成奨励などの五大改革指令を出した。政党が次々と再建・結成され、戦後初の総選挙(b)が行われ、新憲法が制定された。また、寄生地主制の解体のために農地調整法が改正されるとともに、1946年に［ 3 ］が制定され、小作地の買収などが進められた。

その後、冷戦の本格化にともない占領政策は転換され、ＧＨＱは1948年末に経済安定九原則(c)の実行を指令し、それに応じて政府は具体的な金融・財政政策を実行していった。その結果、インフレは収束したが、中小企業の倒産などにより、労働運動は激化した。しかし、1949年に発生した［ 4 ］などの怪事件により労働運動は大きな打撃を受けた。その後、朝鮮戦争による特需やサンフランシスコ平和条約(d)による主権の回復などにより、日本は経済的に立ち直り、国際的地位も向上していった。政治では保革対立が激化し、1955年に［ 5 ］の統一が実現すると、保守合同で自由民主党が成立した。

これより1973年頃まで、日本経済は年平均で高い経済成長をとげ、国民総生産が増大した。この高度経済成長期(e)には、家計の所得も著しく増加した。

問１　空欄１について、適当なものを選びなさい。

ア．極東委員会　　イ．連合国対日理事会

ウ．統合参謀本部　　エ．安全保障理事会

問２　空欄２について、適当なものを選びなさい。

ア．幣原喜重郎　　イ．東久邇宮稔彦

ウ．鈴木貫太郎　　エ．吉田茂

問３　下線部(a)に関して、戦後の労働組合や労働運動についての記述として、最も適当なものを選びなさい。

ア．旧総同盟系を中心として、日本労働組合総同盟が全国組織として結成された。

イ．労働基準法が制定され、これにより労働者の団結権・団体交渉権・争議権が保障された。

ウ．日本進歩党の指導下で、最も左翼的な全日本産業別労働組合会議が結成された。

エ．労働組合法では争議方法の調整などが規定され、その機関として労働委員会が設置された。

問４　下線部(b)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

ア．この選挙の結果、鳩山一郎が内閣を組織した。

イ．この選挙で第一党となったのは、日本自由党であった。

ウ．この選挙では、はじめて女性の衆議院議員が誕生した。

エ．この選挙で有権者数は、それまでの３倍近くに増加した。

問５　空欄３について、適当なものを選びなさい。

ア．農地法　　イ．農業基本法

ウ．土地改良法　　エ．自作農創設特別措置法

問６　下線部(c)の内容として、適当でないものを選びなさい。

ア．総予算の均衡を図ること

イ．徴税・脱税取り締まりを強化すること

ウ．１ドル＝360円の単一為替レートを設定すること

エ．金融機関の融資を復興に制限すること

問７　空欄４について、適当なものを選びなさい。

ア．血のメーデー事件　　イ．松川事件

ウ．森戸事件　　エ．人民戦線事件

問８　下線部(d)で日本の施政権が及ばないとされたものを選びなさい。

ア．対馬　　イ．伊豆諸島　　ウ．礼文島　　エ．琉球諸島

問９　空欄５について、適当なものを選びなさい。

ア．日本民主党　　イ．憲政党　　ウ．国民協同党　　エ．日本社会党

問10　下線部(e)の間に起きた出来事であるア～エを年代順（古い→新しい）に並べたとき、古いものから３番目に該当するものとして、適当なものを選びなさい。

ア．大阪で日本万国博覧会が開催された。

イ．新産業都市建設促進法が公布された。

ウ．「貿易為替自由化大綱」が決定された。

エ．公害対策基本法が制定された。

地理歴史（日本史）解答用紙　　２日［＊＊］

1

問 1	空欄 1	㋐ ㋑ ● ㋓
問	2	㋐ ● ㋒ ㋓
問 3	空欄 2	㋐ ㋑ ● ㋓
問	4	㋐ ● ㋒ ㋓
問	5	㋐ ● ㋒ ㋓
問 6	空欄 3	㋐ ㋑ ㋒ ●
問 7	空欄 4	● ㋑ ㋒ ㋓
問	8	㋐ ● ㋒ ㋓
問 9	空欄 5	㋐ ● ㋒ ㋓
問	10	● ㋑ ㋒ ㋓

20点

2

問 1	空欄 1	㋐ ● ㋒ ㋓
問	2	㋐ ● ㋒ ㋓
問	3	㋐ ㋑ ● ㋓
問 4	空欄 2	● ㋑ ㋒ ㋓
問 5	空欄 3	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	6	㋐ ㋑ ● ㋓
問	7	㋐ ㋑ ● ㋓
問 8	空欄 4	㋐ ㋑ ㋒ ●
問 9	空欄 5	㋐ ● ㋒ ㋓
問	10	● ㋑ ㋒ ㋓

20点

3

問 1	空欄 1	㋐ ● ㋒ ㋓
問	2	㋐ ㋑ ● ㋓
問	3	㋐ ● ㋒ ㋓
問 4	空欄 2	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	5	● ㋑ ㋒ ㋓
問 6	空欄 3	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	7	● ㋑ ㋒ ㋓
問 8	空欄 4	㋐ ㋑ ● ㋓
問	9	● ㋑ ㋒ ㋓
問10	空欄 5	㋐ ● ㋒ ㋓

20点

4

問 1	空欄 1	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	2	● ㋑ ㋒ ㋓
問 3	空欄 2	㋐ ● ㋒ ㋓
問 4	空欄 3	㋐ ㋑ ● ㋓
問	5	● ㋑ ㋒ ㋓
問	6	㋐ ㋑ ㋒ ●
問 7	空欄 4	● ㋑ ㋒ ㋓
問	8	● ㋑ ㋒ ㋓
問 9	空欄 5	㋐ ㋑ ● ㋓
問	10	㋐ ㋑ ● ㋓

20点

5

問 1	空欄 1	● ㋑ ㋒ ㋓
問 2	空欄 2	㋐ ● ㋒ ㋓
問	3	● ㋑ ㋒ ㋓
問	4	● ㋑ ㋒ ㋓
問 5	空欄 3	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	6	㋐ ㋑ ● ㋓
問 7	空欄 4	㋐ ● ㋒ ㋓
問	8	㋐ ㋑ ㋒ ●
問 9	空欄 5	㋐ ㋑ ㋒ ●
問	10	㋐ ㋑ ㋒ ●

20点